

第1回定例会
(2/13~3/13)

区民の願い実現！ これからもみなさんの声に 応える区政へ全力をつくします



区議会議員
牛尾こうじろう



区議会議員
飯島 和子



区議会議員
木村 正明

今期最後の定例区議会は、2つの大きな特徴がありました。1つは区民の声が区政を動かしたことです。国保料の軽減に象徴されます。共産党区議団はさらなる負担軽減に向けて国への意見書を提出しました。

2つ目は、税金の使い方が問われたことです。

旧麴町保健所跡地で区がすすめている地下鉄永田町受け口工事を監査委員は1月、「違法状態」と判断。違法状態を招いた原因は何か。党区議団はその説明に力を尽くしました。1100億円を超える基金を積み立てるなど千代田区には区民の声に応える豊かな財源があります。共産党区議団はこの財源を活かし、住み続けられるまちづくりになんとかと力をあわせま

国保料が9割の加入世帯に軽減

今年度に引き続き、新年度も、9割の世帯の国保料が、不十分ながら引き下がることになりました。

共産党区議団の「区政アンケート」には毎年、「国保料が高すぎて払えない」という声が寄せられています。党区議団は、国民健康保険料の軽減を繰り返し求めて



きました。今期は16回の定例会中、本会議で9回、予算・決算を審査する委員会でもたびたび取り上げました。

国保料の負担軽減は切実です。被用者健康保険（組合健保、協会けんぽ、共済など）と比べ、国保の加入世帯の平均所得は低いのに保険料は2倍以上です。家族1人ひとりにかかる「均等割」（48300円）があるため、多子世帯ほど負担が多くなる仕組みです。子育て支援に逆行です。区は、「構造上の問題」で

がん検診の無料化が実現

新年度から区民検診のすべてのがん検診が無料になります。石川区政は、2004年度からがん検診に自己負担（800円）を導入しました。

党区議団は、「区政アンケート」に寄せられた「がん検診の無料化」の声を取り上げ、肺がん健診は2008年度に300円、2016年度は無料になりました。

しかし、胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がんは節目検診以外には有料でした。

このような中で、新年度から区民検診で行われるすべてのがん検診の無料化が実現しました。

無料クーポンが出る受診率が高いことなどを示し、早期発見のために受診率向上

割を担うためには、国庫負担を増やし、せめて子どももの均等割は廃止すべきです。

党区議団は、国に対し「国民健康保険に対する国庫負担の大幅引き上げ等を求める意見書」を提案しましたが、自民・公明などが反対し、否決されてしまいました。引き続き、実現まで粘り強く取り上げます。

富士見地域に ちよくるポート 増設実現

子育て世代が増え、富士見地域に、ちよくるポートが2カ所しかなく、増設を求め声が沢山寄せられていました。この声を示し、度々求める中で、ようやく富士見みらい

障害者手当の対象を 「精神」に拡充

障害者手当の支給対象を「身体」「知的」に加え、「精神」にも拡充すべきことを求めてきました。が、新年度から、精神障害者福祉手帳1級の方に、月額15500円（年4回に分けて）支給されることになりました。



障害がある方々は就労が困難な場合が多く、経済的支援が必要です。区が行ったアンケートでも

経済的支援を求める回答は高い比率になっています。この声にこたえる施策の拡充のために力をあわせましよう。



新設されたちよくるポート

館の後方に3台分が設置されました。需要には追いつきませんが、民地も含めて適地を確保して増設が必要です。

住みつけられる千代田を
日本共産党千代田区議団だより

発行/日本共産党千代田区議団 九段南1-2-1 ☎ (5211)4324 電 (5275) 6898
Eメール jcp-chiyoda@kamogawa.seikyuu.ne.jp



公共施設のあり方、税金の使い方... 区民の目線で区政をチェック

税金の使い方が問われたのが四番町区営アパート（図書館との複合施設）建替え問題です。区は2012年に「公営住宅等長寿命化計画」を策定。ここで

2012年	「公営住宅等長寿命化計画」の策定
2013年	屋上防水改修工事 (850万円)
2014年	排水設備改修工事等 (1億3千万円) (便器・下駄箱・床張替え・洗面台・台所の蛇口・LED等)
2015年	給水設備改修工事 (3千万円)
同年12月	建替え説明会

併設する四番町図書館の改修と合わせ改修総額は約2億円。「税金の無駄使い」との区民の声も当然です。

「修繕工事一覧」をご覧ください。この「計画」にもとづき、区は2013年から2015年の3年間で、総額で約1億7千万円をかけ改修工事を完了。居住者がホッとしたのも束の間、その年の12月、区は突然、建て替え説明会を開いたのです。隣接する、保育園・児童館・区営住宅の複合施設と一緒に建て替えるから、が理由です。

四番町区営アパート建替え問題 税金の使い方をチェック

今定例会に区民から再び「箱根千代田荘の再開を求める陳情」が提出され、趣旨採択されました。問題の原点は2005年第3回定例会にさかのぼります。区長が提案した箱根千代田荘民営化条例を賛成多数で可決した瞬間です。「区民福祉の後



旧箱根千代田荘

退」と反対したのは共産党区議団だけ。この条例改定で千代田荘の運営に区は責任を負わなくなりました。その結果、最初の民間事業者が撤退すると次の運営事業者が決まらず、今日にいたっています。また区立施設であった湯河原千代田荘を廃止する条例(2013年第2回定例会)に反対したのも共産党区議団のみ。保養施設再開を願う区民と力を合わせ頑張れるのもそのためです。

保養施設再開に向けて頑張れるのは...

子育て支援が前進

「くだんしたこどもひろば」開設

区役所近くの民間地を区が一時借用し遊び場として活用する「くだんしたこどもひろば」が開設されます。区が3月7日、子育て文教委員会に報告しました。

開設期間は4月8日から2022年12月(予定)まで。「ひろば」にはボール遊び、遊具、ミニバスケットなどの各エリアが設置されます。



開設予定のくだんしたこどもひろば

子どもの遊び場の確保は子育て世代の強い要望です。昨年末に行われた「子育てニーズ調査」では、「充実してほしい子育て支援のサービス」について「公園や遊び場」が49.3%と最も多い結果でした。

民間地の借り受けや、低未利用の公有地の活用など子どもの遊び場確保に区はあらゆる可能性を追求してほしいと思います。

10連休の休日保育について

区は第1回定例会で、連休中の4月30日と5月2日、グローバルキッズ飯田橋こども園、区立神田保育園での特別保育を実施することを明らかにしました。

また学童保育は、現在学童を利用している児童を対象に特別保育を西神田児童センター学童クラブで実施することになりました。

党区議団は区に対し、ゴールデンウィーク10連休中に就労により保育が困難な世帯への保育サービスの実施と休日出勤する保育職員への配慮を求めています。

旧麹町保健所跡地の地下工事 条例違反ただす

旧麹町保健所跡地(平河町2丁目)の地下鉄永田町駅の受け口工事についての住民監査請求をうけ、監査委員は1月25日、同工事を「違法状態」と判断。予算区議会に求められたのは違法状態を招いた原因の解明です。



工事が進む旧麹町保健所跡地

共産党区議団は、石川区政の二つの軽視を指摘。ひとつが法令軽視です。条例は1億5千万以上の契約は区議会の議決が必要と規定。ところが5億円を超える地下工事を議決なしに、区は発注してしまいました。しかも工事費や工期がわからないまま発注したことも後に判明。驚くべき無責任さです。

いまひとつは、民意の軽視です。公の施設や区有地は区民の共有財産です。しかし区は住民の意向調査を一貫して拒否。共産党区議団は1月、周辺住民を対象にアンケート調査を独自に実施しました。その結果をふまえ、意向調査を区に再度要求。区は「地域の意向の把握を検討する」との立場を初めて表明しました。法令を守り民意を尊重する区政へ全力をつくします。

法律・生活相談

身近な問題から法律相談まで、みなさんの立場にたって、ともに解決の道をさがります。お気軽にご連絡ください。

日本共産党千代田区議団控室(直通)

☎ 03-5211-4324

FAX 03-5275-6898



木村 正明

二番町11-9-303

3265-2979

Eメール m.kimura24@hb.tp1.jp



飯島 和子

富士見1-5-3 NTハイム406

3222-7783

Eメール kazuko4685@yahoo.co.jp



牛尾耕二郎

岩本町1-12-12-301

3863-6756

Eメール k-ushio@beetle.ocn.ne.jp